

LINCLE ちいき版説明会開催

広報・情報委員会 宇井 靖

7月14日（月）三沢市総合社会福祉センターにおいて、薬局間の調剤実績共有サービス「LINCLE ちいき版」の説明を兼ねた研修会が開催されました。本サービスは既に八戸薬剤師会において稼働されているシステムであり、どの薬局でどの薬がいつ調剤されたかをリアルタイムで検索することができるシステムです。このシステムを活用することで、普段在庫していない医薬品の処方せんを受け付けた際、薬局間の調剤実績を確認することで、融通頂ける薬局が容易に検索でき、業務の効率化、患者様のサービスの向上に繋がります。上十三薬剤師会では本システムを11月からの運用を目指しております。

当日は特別講演①として「地域における医薬品の在庫連携について」と題し、本システムの開発・提供を行っている（株）メディカルシステムネットワーク システム情報部 中村 紘大様より本システムの特徴について紹介頂き、特別講演②として「地域に寄り添う薬剤師会の活動」～より良い医薬品供給サービス実現のために～LINCLE はちのへの活用と題し、一般社団法人八戸薬剤師会 会長 阿達 昌亮先生より、本システムを導入することでの有用性、利便性について八戸薬剤師会での導入実績を踏まえご講演頂きました。

本システムを活用することで、昨今の医薬品不足の中、在庫を確保し、地域で協力することで薬局としての社会貢献を果たすことができ、公衆衛生の向上が期待できます。又、会員薬局の薬品在庫を地域として有効に活用でき、薬剤師会というチームで地域医療の貢献ができ、薬剤師会において医薬品の提供サービスを強化できるというメリットがあります。

又、本システムは薬局だけでなく、その他業種の方々に対しても有益であると考えられます。病院・クリニック様においては、欠品を恐れず患者さまに適切な医薬品を処方することができるようになり、医薬品卸様においては、土日、時間外における急配業務や返品対応の機会を減らすことができると期待されます。役場・自治体においても、地域住民への医療サービスの向上に寄与する取り組みとしてPRできると考えられます。

将来的には、災害時の医薬品供給体制にも活用を広げていくことが期待できることから、多くの上十三地区の会員薬局に参加頂き、上十三薬剤師会というチームとして活動を盛り上げていければと思います。